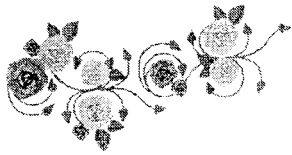
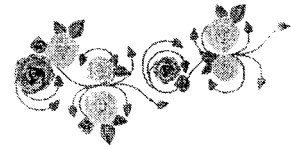


横浜市における こんにちは赤ちゃん訪問事業 ＜地域の支援力との連携＞

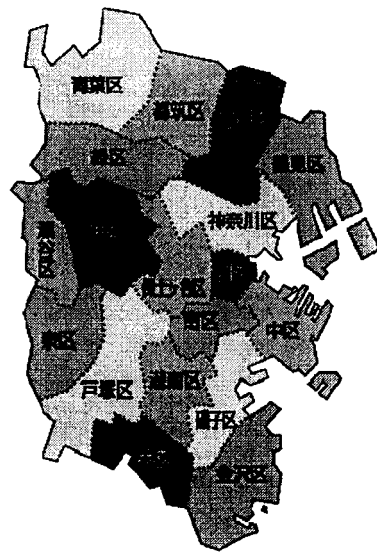
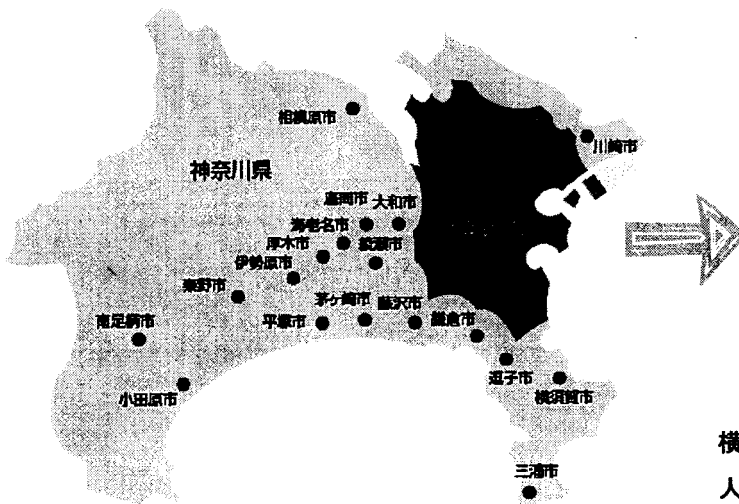


横浜市こども青少年局
こども家庭課 丹野 久美



横浜市の概要

神奈川県の一部に位置し、一番大きな市です

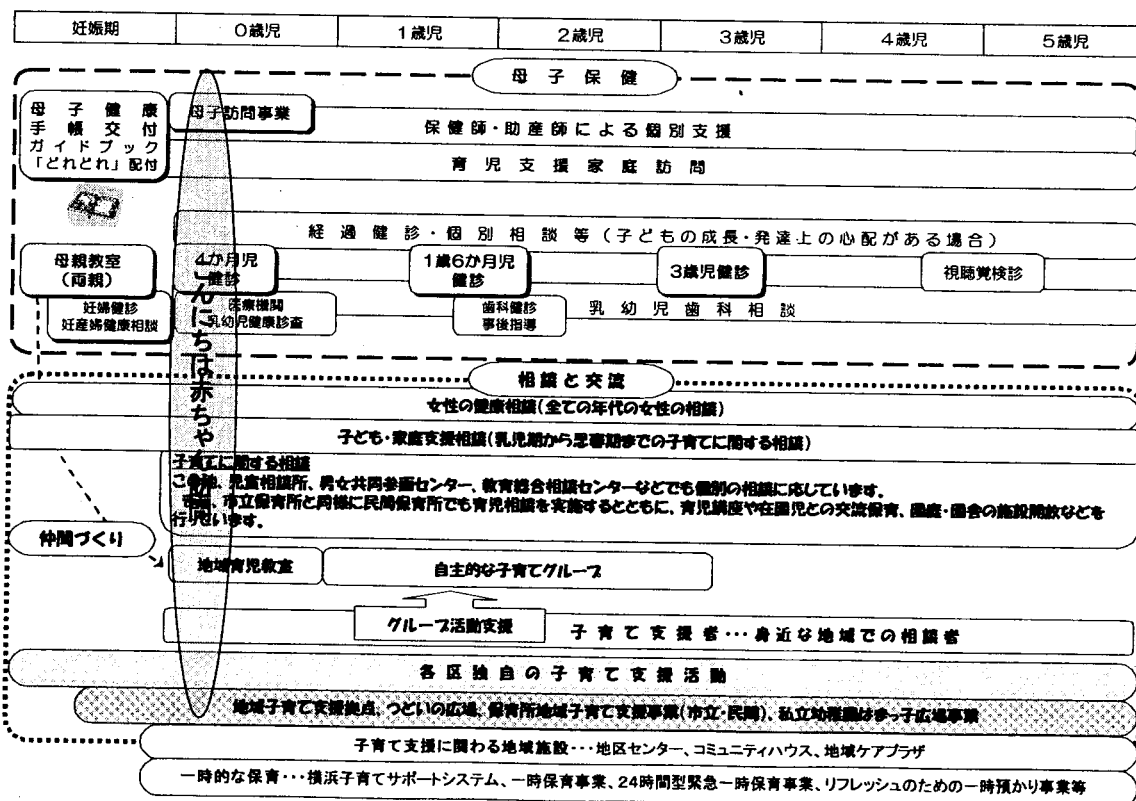


横浜市は政令市で、18区あります
人口は 約360万人、世帯数約160万世帯
年間出生数は約3万2～3千人で推移
65歳以上人口比 約18% 平均年齢42歳

横浜市福祉・保健の特徴

- 保健師数 定数 412人
 (内訳)区こども家庭支援担当 118人
 福祉保健相談 18人 高齢者支援 105人 障害者支援 19人
 事業企画 18人 健康づくり 73
 こども青少年局 6人 健康福祉局 12人 その他の局 5人
 課長・係長職 45人
- 各区への助産師の配置
- 社会福祉職の採用
- 精神保健福祉を担当する社会福祉職の存在
- 区づくり推進事業費による区独自の事業展開が可能

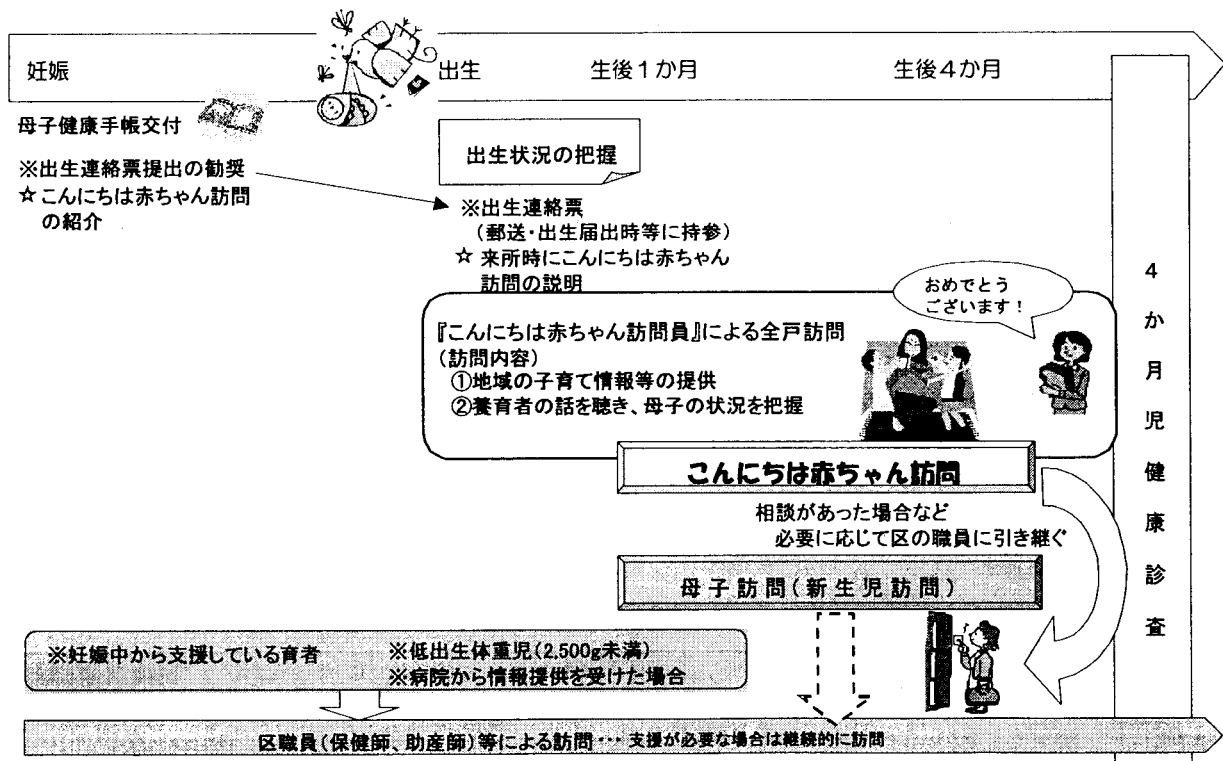
横浜市の子育て事業体系



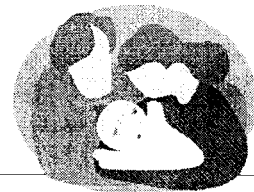
横浜市における母子訪問指導事業(新生児訪問)と こんには赤ちゃん訪問事業の整理

	母子訪問指導事業	こんには赤ちゃん訪問事業
対象者	基本的には第一子	生後4か月までの赤ちゃんのいる全家庭
訪問者	母子訪問指導員(委嘱助産師・保健師) 低体重児、ハイリスク、病院からの引継 ケースや第二子以降の希望者は区の保 健師・助産師が訪問	現在693名に委嘱 (内訳) ・民生委員・児童委員、主任児童委員 ・保健活動推進員、子育て支援事業、 子育てサークル、子供会、ボーイスカウト等
目的	新生児及び乳児の発育・発達等育児上 必要な事項について助言することにより 育児不安の軽減や母体の回復を図り、 必要な情報提供を行うことで母親が安心 して育児ができるよう支援	地域の方による子育て支援に関する情報の 提供を介して、地域の方とつながり、こどもを 見守る地域づくりを目指す ・「おめでとう」と赤ちゃんを地域に迎える ・母子を孤立させない。 ・早期に多くの赤ちゃんのいる家庭を把握 リスク>個人情報の管理・保護

横浜市における事業の流れ



訪問の内容(研修資料より)



赤ちゃんの誕生を祝い、母親を応援し、子育て情報を提供します

- まず、「赤ちゃんの御誕生、おめでとうございます」という一言を、届けてください。地域の一人に加わった赤ちゃんを、お祝いの言葉で迎えましょう。
- 訪問時には、冊子やプレゼントをお渡しし、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、子育ての様子などの話をお聴きします。具体的な地域の情報をお伝えすることが、地域での日常的な交流のきっかけづくりになります。
- 相談があった場合には、「活動報告書」に相談内容を記載し、区福祉保健センターを紹介し、引き継ぎの同意を得ます。区からの連絡を希望する場合は、その旨を「活動報告書」に記入し、早急な対応が必要であれば区に連絡します。
- 訪問の最後に、確認のため、「活動報告書」に養育者のサインをもらいます。
- 訪問の際は、親子の状態を最優先に考え、赤ちゃんや養育者の体調がよくない等の場合には訪問を見合わせ、訪問日時を再度調整をするなど、臨機応変な対応をお願いします。

こんにちは赤ちゃん訪問事業 活動報告書(兼依頼書)

第1号様式
(表裏) こんにちは赤ちゃん訪問事業 活動報告書(兼依頼書)

年 月 日

地区名 _____ 訪問員氏名 _____

乳児氏名	_____	月齢()ヵ月
訪問日時	(1回目) 年 月 日 ()	午前・午後 : ~ :
	(2回目) 年 月 日 ()	午前・午後 : ~ :
	<input type="checkbox"/> 2回とも不在	
依頼者	<input type="checkbox"/> 日本人(児) <input type="checkbox"/> 母親 <input type="checkbox"/> その他家族()	
相談内容	_____	
	福祉保健センターへの引継ぎ <input type="checkbox"/> 引き継ぎあり <input type="checkbox"/> 引き継ぎなし <input type="checkbox"/> 継続できず	
	「こんにちは赤ちゃん訪問」を受けました	
	平成 年 月 日	確認欄

(裏面) 福祉保健センターへの連絡事項・備忘事項

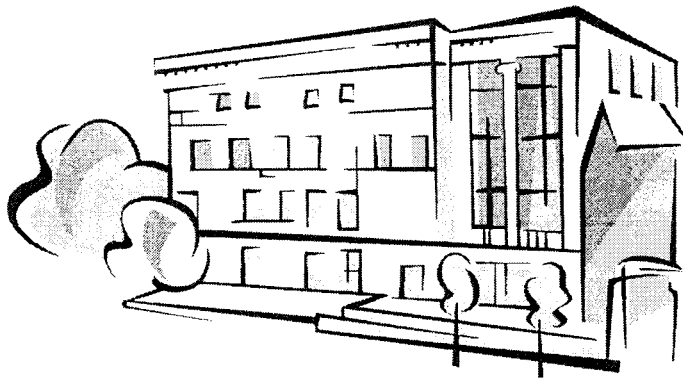
こんにちは赤ちゃん訪問員 ハンドブック

こんにちは赤ちゃん訪問員
ハンドブック

平成20年11月1日
横浜市こども青少年局こども家庭課
区福祉保健センター

訪問活動の実際(研修資料より)

- ・訪問日時を電話でお伝えする場合
- ・対象者のご家庭を訪問する場合
- ・訪問途中で...



ポスター

横浜市では、平成21年1月から

こんにちは赤ちゃん訪問 が始まります!

～赤ちゃんのいる全てのご家庭を、地域の方が訪問～



「こんにちは赤ちゃん訪問」は何をするの?

お住まいの地域の「こんにちは赤ちゃん訪問」は、子育てがはじまると同時に、地域で子育てがはじまるまで、約20人の育児の先輩を輩出しています。地域の子育て先輩は、地域の子育て先輩から、地域の先輩から「相互支援」を続けます。

「こんにちは赤ちゃん訪問」ってどんな人?

地域で活動している子育て先輩、育児支援や子育て支援、子育て支援の地域の人たち、約20人の育児の先輩を輩出しています。地域の子育て先輩は、地域の先輩から「相互支援」を続けます。

訪問の連絡はいつ来るの?

申し込み、母子健康で記入している「出生連絡票」を任意の区の福祉保健センターへ提出してください。提出した出生連絡票の提出日から1週間程度、お住まいの地域の福祉保健センターから連絡がきます。

**助産師・保健師による
母子訪問(新生児訪問)もあります**

お住まいの地域の福祉保健センターに、赤ちゃんの健康状態、育児、育児に関すること、地域の先輩からの健康状態などについて、相談を受けています。(医師は除きます)

訪問についての問い合わせ先: お住まいの区の福祉保健センターサービス課
※福祉保健センターサービス課のホームページに掲載されています。

TEL: 045-221-2462 FAX: 045-225-1125 E-mail: shiryo@yokohama-city.jp

出生連絡票

出生連絡票

赤 ん ん	氏名	住所	性別	年齢
お 母 さ ま	氏名	住所	年齢	職業
お 父 さ ま	氏名	住所	年齢	職業

1. こんにちは赤ちゃん訪問活動の目的は、地域の先輩と子育て先輩が、地域の子育て先輩として、地域の子育て先輩から「相互支援」を続けます。

2. 母子訪問によって「過去の地域の子育て先輩」は、子育て先輩として、地域の先輩から「相互支援」を続けます。

母子訪問を希望する方 (お母さん・お父さん)
お住まいの地域の福祉保健センターへ、出生連絡票を提出してください。
お住まいの地域の福祉保健センターから連絡がきます。

(お母さん・お父さん)が記入してください

事業実施までのスケジュール

	区役所	関係組織・団体	周知	訪問員	事務嘱託	備考
H20年 4月	課長・係長会議事業説明					区担当者説明会 ・概要説明 ・チラシ検討 ・事務手続き/スケジュール ・情報交換
5月	検討会実施 ・母子訪問指導事業との連携・整理 ・事業を円滑に進めるための帳票類やデータ管理等	市民児協理事会 町内会連合会 主任児童委員連絡会 よこはま子育て一万人for-um 定例会	広告付物品事前検討	地域組織や子育て支援関係団体への説明 事業実施要綱及び委嘱要綱作成	区役所総務課ライン ・事業説明 ・就業関係調整	行政運営行政局 &市民活力推進局 ・住基データの利用について調整
6月	母子訪問・母親教室担当者連絡会	地域子育て支援拠点定例会	窓口・母親教室等でのチラシ配布 説明時のQ&A作成	↓ 各区で募集開始	アルバイト・パソコンの配布調整	
7月	母子訪問指導事業との連携・整理 他	市民児協理事会 主任児童委員連絡会				こんにちは赤ちゃん訪問事業マニュアル(案)作成
8月	訪問事業マニュアル(案)を提示 ↓ 検討(課長・係長)		↓ 広告付物品募集(冊子)			
9月	福祉保健センター長・担当部長会議			訪問員選考終了	広報よこはま市版(9月号) (募集期間9/11~9/17) →各区に配布	
10月	担当者説明会					個人情報保護審議会
11月	戸籍課・保険年金課 事業説明	市民児協理事会 主任児童委員連絡会	↓ 広告付物品募集(物品) 配布用冊子(見本)	(区)委嘱式 全体研修(同内容4回)	嘱託員雇用手続き完了	マニュアル配付
12月	庁舎内ポスター掲示		医師会・助産師会 ・事業説明 ・ポスター掲示	各区での研修 母子訪問指導員研修	雇用開始 全体研修 各区での研修	検討事項 PC設定 システム決裁
H21年 1月			広報よこはま掲載 ホームページUP 記者発表	訪問スタート		デモデータ抽出→確認 出生連絡票を元に訪問 各区のPCセッティング
2月			訪問活動取材	(委嘱更新手続) (委嘱状の必要枚数を各区総務課に依頼)		データ抽出 →対象者リスト作成
3月				(次年度研修日程案内)		

こんにちは 赤ちゃん

発行/横浜市・協力/ベネッセコーポレーション

横浜市
保健所



こんにちは赤ちゃん訪問事業

生後4か月までの赤ちゃんのいる家庭を、地域の訪問員が訪問し、出産後利用できるサービスや地域の子育て情報の提供を行います。

2020年

いざという時の災害に備えて

●緊急時の連絡方法についてみんなで話し合っておきましょう

- ・複数の連絡方法を考え、記入したものを母子健康手帳と一緒にしておく
- ・災害伝言ダイヤルや携帯電話の災害伝言掲示板も確認しておく

●非常持ち出し用の物品の確認

母乳の方は出が悪くなる場合があるのでミルクも準備しておきます

(持ち物チェック)

- | | |
|-------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 粉ミルク | <input type="checkbox"/> タオルやガーゼのハンカチ |
| <input type="checkbox"/> 水 | <input type="checkbox"/> 肌着 |
| <input type="checkbox"/> プラスチックの哺乳瓶 | <input type="checkbox"/> 赤ちゃんの服 |
| <input type="checkbox"/> お尻拭き | <input type="checkbox"/> 離乳食(赤ちゃんの月齢に応じて) |
| <input type="checkbox"/> 紙おむつ | <input type="checkbox"/> その他、災害時避難用リュックの中身 |



●受診や相談できる場所を調べておきましょう

- ・受診中の病院以外にも近所の病院の場所や連絡先を確認する

●現在受けている治療や自分の健康状態を知っておきましょう

- ・受けている治療や飲んでいる薬の名前を記入し、他の人にも分かるようにする
- ・血液検査(血液型、貧血の有無、B型肝炎等の有無)の結果、アレルギーの有無、医師からの注意事項を書き記しておく

●家の中の備え

- ・家具の転倒防止策
- ・避難経路の確保(その途中に災害時避難用リュック)

●地域防災拠点

震災により家が倒壊したり、倒壊の危険がある場合に、一時的に避難生活を送る場所で、食糧・水・救護物資などの配布や生活情報の提供、家族の安否確認を行う場所です

●一時避難場所

地震発生後、周囲の様子を見たり、次の避難場所(広域避難場所、地域防災拠点など)に移動する場合に地域住民が集結・待機する場所です

万が一のとき あわてないように メモをしておきましょう

●かかりつけ医	電話
●かかりつけ医	電話
●タクシー会社	電話
●すぐ知らせたい人の連絡先	
名前	電話
名前	電話
名前	電話

救急機関リスト P.6~7参照

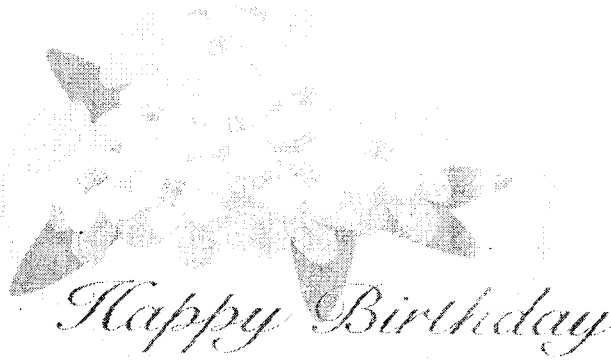
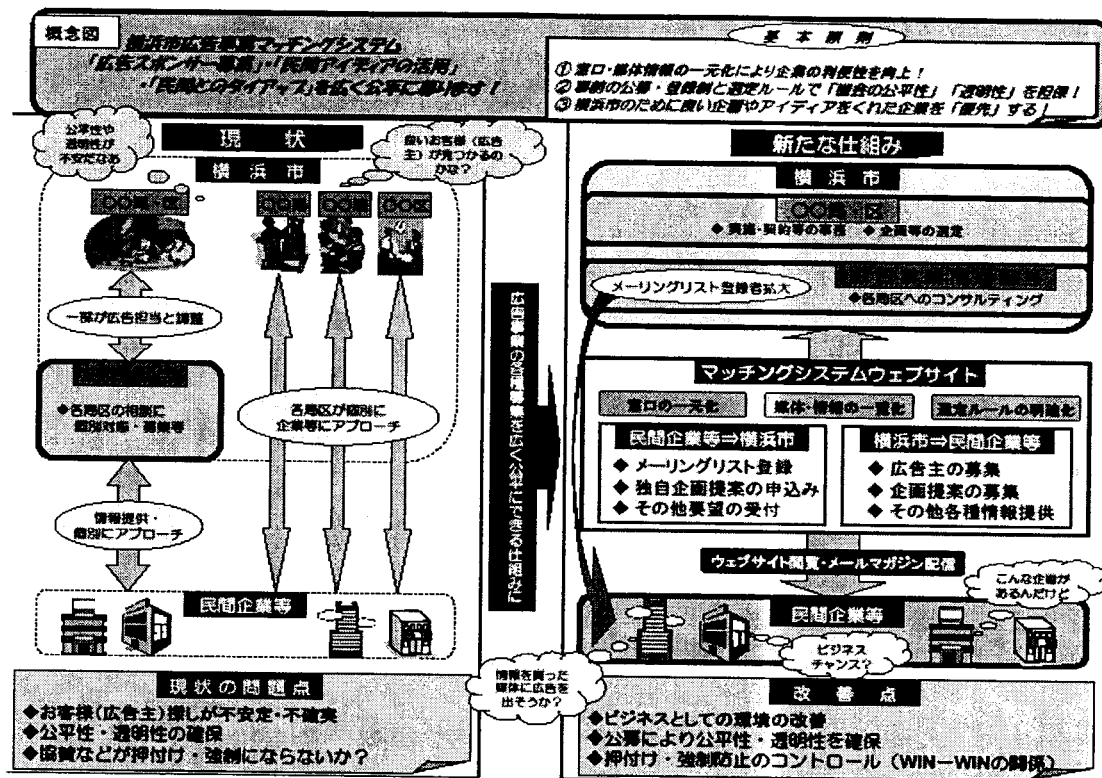
区 休日急患診療所	電話
(病院や診療所案内)	
横浜市救急医療情報センター	電話 201-1199 <small>いしゆま</small>
(看護師による電話相談)	
小児救急電話相談	電話 201-1174 <small>いしゆま</small>
家庭用化学製品(タバコや洗剤など)を誤って飲んでしまった!	
中毒情報相談室	電話 262-4199

あわてずはつきり話ししょう 救急車を呼ぶ場合 119 番

あなたの町の避難場所

場所の説明
(自印など)

広告事業について



Happy Birthday
 Congratulation!

こんにちは。

赤ちゃんの御誕生、おめでとうございます！